

どっこい生きてる (1951)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1951/07/04

【解説】

歌舞伎劇団である劇団前進座が、一口50円の出資を募り、新星映画と協同で製作した作品。今井正が岩佐氏寿、平田兼三とともに執筆した脚本を監督。前進座の創立メンバーである河原崎長十郎と中村翫右衛門が主役を務めた。

日雇い労働で妻と二人の子供を養う毛利修三は、今日もドヤ街にある職安に通っていた。地主から家を取り壊すと聞かされた修三は、家族を実家に帰す。修三は木賃宿に寝泊まりしてその日暮らしを続けていたが、町工場で旋盤工として雇われることになった。仲間たちのカンパで給料日までの食費を手に入れた修三だったが、酒に酔って寝ている間に金を盗まれてしまう。知り合いの薦めで違法な仕事を手伝い逮捕された修三は、留置場で家族と再会する。

【クレジット】

監督 今井正

脚本 岩佐氏寿

平田兼三

撮影 宮島義勇

出演 河原崎長十郎

中村翫右衛門

木村功

岸旗江